



TITLE:

表紙・投稿規定・編集後記・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・投稿規定・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1980, 35(2): 91-102

ISSUE DATE:

1980-11-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/90150>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
昭和55年11月20日発行(毎月1回20日発行)  
物 性 研 究 第35巻 第2号

**vol. 35 no. 2**

# 物性研究

**1980/11**

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

### 投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように処置をとって下さい。上ツキ、下ツキ、英字の大、花文字、ギリシャ文字、oとaと0（ゼロ）、uとnとr、cとe、l（エル）と1（イチ）、xと×（カケル）、uとv等を赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるものを原稿に添えて下さい。図の縮尺、拡大は致しません。1頁(13×19cm<sup>2</sup>)以内に入らない図、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図、表の説明は別紙に書き、本文中に挿入位置を赤で明示して下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. **別刷は原則として作りません。**どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を50部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

（郵券による受付はいたしません）

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月10日で原則として次月発行誌に掲載されます。

---

ニュース

---

〔東京大学教養学部〕

◦ 談話会

9月19日 “Spin Glassにおける $\mu$ SR”

山崎敏光氏（東大・理）

〔東京大学物性研究所〕

◦ 研究会

物性研短期研究会「光散乱による誘電体相転移の研究」

プ ロ グ ラ ム

期 日 1980年10月8日(水)～9日(木)

場 所 東京大学物性研究所 旧棟1階講義室

10月8日(水)

1:00 あいさつ

1:05 Light Scattering Study on Ferroelastic  $\text{NdP}_5\text{O}_{14}$  (30分)

坂東淳史, 中島信一, 三石明善(阪大・工)

Hyper-Raman Spectra in a Few Crystals Undergoing Structural Phase Transition (30分)

井上久遠(静岡大・理)

Raman Scattering Study of the Low Temperature Phase Transition in  $\text{Rb}_2\text{ZnCl}_4$  (30分)

和田三男, 沢田昭勝, 石橋善弘(名大・工)

3:05 休 憩

3:20 Are Phonons Diffusive ? (30分)

J. F. Scott (コロラド大)

Raman Scattering from Quasitons (30分)

中村輝太郎(物性研)

Light Scattering Spectra of a Polarization Relaxational Mode —  
Acoustic Phonon Coupled System (30 分)

徳永正晴, 笠原 勝, 田中弘和, 達崎 達 (北大・応電研)

Polarization Fluctuation Spectra in Mixed Crystals  $\text{KDP}_{1-x}\text{DKDP}_x$  (30 分)

笠原 勝, 田中弘和, 徳永正晴, 達崎 達 (北大・応電研)

10 月 9 日 (木)

10:30 Raman Scattering from Conduction Electrons in  $\text{KTaO}_3$  (20 分)

植 寛素, 作道恒太郎 (筑波大・物工)

鵜木博海 (電総研)

Structural Phase Transition in  $\text{IV-VI}$  Compound Semiconductors  
(20 分)

邑瀬和生 (阪大・理)

Raman Studies of Transition Metal Dichalcogenides (20 分)

水貝俊治 (阪大・理)

12:00 昼 食

1:30 Light Scattering Study of the  $\alpha-\beta$  Phase

Transition in Quartz—Effect of Uniaxial Stress (30 分)

重成 武, 高木康成 (電通大)

Properties of Non equilibrium State in  $\text{NaNO}_2$

Studied by DSA Technique (30 分)

山田安定, 野田幸男 (阪大・教養)

Brillouin Scattering Study of  $\text{K}_2\text{SeO}_4$  and  $\text{NaNO}_2$  (20 分)

八木駿郎 (九大・理)

3:00 休 憩

3:15 Rayleigh—Brillouin Scattering in  $\text{NH}_4\text{Cl}$  under Hydrostatic  
Pressure (20 分)

疋田朋幸, 池田拓郎 (東北大・工)

Observation of Low Frequency Polaritons in Several Crystals  
(30 分)

小島誠治 (筑波大・物工)

Hypersonic Dispersion of  $\text{BaTiO}_3$  by Double-axis Brillouin  
Spectroscopy (30 分)

富永靖徳 (お茶大・理)

Raman Scattering Studies of Amorphous  $\text{PbTiO}_3$  (30分)

高重正明 (物性研)

5:20 free discussion

○ 談話会

- |            |   |
|------------|---|
| 9月 8日 (月)  | Dr. H. L. Störmer (Bell Laboratories)   |
|            | “Properties of GaAs–AlGaAs Superlattice and Interfaces”                         |
| 9月 8日 (月)  | Prof. P. Y. Yu (Univ. of Calif., Berkeley)                                      |
|            | “Investigation of Defects in II–VI Semiconductors by Excitation Spectroscopies” |
| 9月 9日 (火)  | J. M. Langer (Polish Academy of Sciences)                                       |
|            | “Resonant Localized Impurity States”  |
| 9月 12日 (金) | Prof W. von der Osten (Universität - Gasamthochschule-Paderborn)                |
|            | “Resonant Raman Scattering in Polar Semiconductors”                             |
| 9月 16日 (火) | Prof F. Herlach (Katholieke Universiteit Leuven)                                |
|            | “Solid State Physics in Very High Magnetic Fields”                              |
| 9月 16日 (火) | Prof G. Bauer (Montanuniversitat, Leoben)                                       |
|            | “Magneto-optical Study on IV–VI Compound Semiconductors”                        |
| 9月 16日 (火) | Prof R. J. Higgins (Univ. of Oregon)  |
|            | “New Aspect on Silicon MOS”   |
| 9月 18日 (木) | Dr F. J. DiSalvo (Bell Laboratories)  |
|            | “From Layered Compounds to Battery Cathodes”                                    |
| 9月 22日     | Prof W. E. Spear (University of Dundee)   |
|            | “Recent Fundamental and Applied Developments in the Amorphous Silicon Field”    |
| 9月 22日     | 白根元氏 (Brookhaven National Laboratory)   |
|            | “Magnetic Ordering in Superconductor”   |
| 9月 29日     | Prof A. Mysyrowicz (Ecole normale supérieure)                                   |
|            | “Evidence for Bose–Einstein Statistics in a Free Exciton Gas”                   |

○土曜セミナー

“液体  $^3\text{He}$  の超流動相における非線形磁気現象”

片 山 硬 氏 (東理大)

[大阪大学]

○人のうごき

鈴木勝久氏 1980年10月1日から Max-Planck Institut (西ドイツ) へ出張

○セミナー

基礎工固体物理セミナー

9月19日 R. Zeyher (Max-Planck Institut Stuttgart)

「Dynamics of Superionic Conductors」

9月26日 定永両一氏 (東大理) 「ベクトル対称論」

10月 8日 久保田実氏 (ユーリッヒ原子核物理研究所)

「 $\text{PrNi}_5$  による極超低温の生成」

## 掲 示 板

### 昭和 56 年度研究計画・アトム型研究員第 1 回募集

京都大学基礎物理学研究所

所 長 牧 二 郎

昭和 56 年度の基研研究計画及びアトム型研究員の第 1 回募集を下記の通り行います。  
長期・短期・モレキュール型研究計画の外に、従来の枠にとられない新しい研究計画  
の応募も歓迎致します。

#### 記

1. 募集内容 長期・モレキュール型研究計画については昭和 56 年 4 月から昭和 57  
年 3 月までに実施の提案。短期研究計画については昭和 56 年 4 月から  
同年 9 月末までに実施の提案。アトム型研究員については昭和 56 年 4  
月から同年 9 月末までの間の計画。それぞれの内容は別項参照（必要  
な場合には基研共同利用事務室へお問い合わせ下さい。）
2. 締 切 昭和 56 年 1 月 31 日（土）（必着）
3. 宛 先 京都市左京区北白川追分町（〒 606）  
京都大学基礎物理学研究所  
共 同 利 用 事 務 室  
電話 075（751）2111（代）（内線）7008
4. 応募の際は A 4 判の「青焼き」コピーが容易なように薄手の用紙に黒のボールペン  
又は黒インクで御記入の上、封筒の表に研究計画又はアトム型研究員応募と明記し  
てお送り下さい。
5. 基礎物理学研究所研究部員会議及び運営委員会（昭和 56 年 2 月末頃の予定）で審議  
決定します。



## 別 項

### A 研究計画

長期研究計画（あるテーマについて数か月から1年にわたって連絡をとりつつ研究を行うもので、普通年1～2回研究会を行っている。但し内容によっては、1年以上にわたる研究計画を提案することもできる。

短期研究計画（あるテーマについて数日間研究会を行う。）

モレキュール型研究計画

（数人が随時連絡をとりつつ研究する。）

#### イ) 研究テーマとその内容

応募書類はあらかじめ研究部員に配っておき、研究部員会議で充分討議致しますので、主旨及び問題点を具体的に書いて下さい。

#### ロ) 世話人及び提案説明者

世話人として主な研究計画立案者を二人以上あげ、その中の一人を連絡責任者として指定して下さい。基研研究部員会議で提案の説明をしていただきますので提案説明者を決めて下さい。基研研究部員が参加者にいる場合はなるべく研究部員が提案説明にあたって下さい。

#### ハ) 研究会及びその他の会合の開催希望時期及び日数

#### ニ) 研究会及びその他の会合に参加する研究者の予定数

#### ホ) 旅費及び校費の必要額（項目別に明記して下さい。）

### B アトム型研究員

アトム型研究員は大学院生を含む研究者を対象とし、個人がある期間、当研究所に滞在して研究を続けていただくものです。

但し、特別の事情がある場合には当研究所以外を研究場所とする計画も認めております。これについての詳細は第54回研究部員会議議事録（1971年11月）22頁，“地方大学の研究条件の改善について”をごらん下さい。

#### イ) 所属・身分及び連絡先

#### ロ) 研究テーマとその内容

計画の内容、応募の目的をなるべく具体的に御記入下さい。他の研究計画と関

連させて申し込まれる場合は、その旨明記して下さい。

ハ) 滞在希望時期及び期間

滞在期間は(A) 1 か月程度( 場合によっては2 週間程度でもよい。)又は(B)2  
～3 か月程度( 年間4 ～5 人) の2 種類とします。応募の際はA 又はB のどちらの  
種類を希望するかを明記して下さい。応募者が一時期に集中し、基研の収  
容能力をこえる場合は、一部時期の変更をお願いすることもあります。( 昭和  
54 年度の利用者は滞在2 か月1 人、1 か月21 人、3 週間1 人、2 週間1 人で  
した。)

C 新しい型の研究計画

従来の研究計画の枠にとらわれない計画も歓迎しております。

1982年京都サマー・インスティテュート(KSI)  
の企画募集

京都大学基礎物理学研究所

基礎物理学研究所では、1978年より例年、夏の学校とワーク・ショップの性格をもち、国外からの参加者も含めた京都サマー・インスティテュート(KSI)を開催してきておりますが、1981年KSIからは広く企画を募集することといたしました。つきましては、提案をお持ちの方は積極的に御意見をお知らせください。次回研究部員会議(1981年2月末頃の予定)において討議の上、適当な案をとりまとめ、実施したいと考えております。

記

1. 提案締切 : 1981年1月31日(土)(必着)
2. 宛 先 : 京都市左京区北白川逗分町 (〒606)  
京都大学基礎物理学研究所 共同利用事務室  
(TEL)075-751-2111内線7008
3. A4判の「青焼き」コピーが容易なように薄手の用紙に黒字でお書きの上、封筒の表に「KSI企画提案」と明記してお送りください。
4. 御意見・御提案はなるべく下記の点についてお書きください。
  - a) テーマとその内容(なるべく具体的に。)
  - b) 実施時期および日数
  - c) 参加者の対象と規模
  - d) 招待したい研究者ないし講師(国内・国外を問わない。)
  - e) 同時期に他の研究機関で開催が計画されている関連分野の企画(小規模国際研究集会、国際会議等を含む)との関係
  - f) 本KSIを実施する場合の組織(組織委員会、実行委員会等)の構成(人名についての提案を含む。)

g) その他の御意見

参 考

開催時期	テ ー マ	参加者数		講師数	
		国内	国外	国内	国外
1978年 9月1日～5日	Particle Physics and Accelerator Projects	人 129	人 30	人 2	人 11
1979年 9月8日～ 12日	Physics of Low-Dimensional Systems	69	15	2	5
1980年 9月8日～ 11日	Amorphous Semiconductors	161	26	3	10
1981年(予定) 6月30日～ 7月3日	Grand Unified Theories	～150			

なお、これまでの経過については、研究部員会議議事録（1977年6月・第7/回以来）を御覧ください。

1978年の記録は参加者、関係分野の研究室等、1979年の記録は参加者にお届けしてあります。1980年の記録は近く刊行される予定です。

基 研 研 究 部 員 会 議 議 題 募 集

来る昭和56年2月26日(木)、  
27日(金)に基研の研究部員会議が  
行われる予定ですので、議題がござい  
ましたら提案趣旨とともに昭和56年  
1月31日(土)必着で下記にお申し  
込み下さい。

〒606

京都市左京区北白川追分町

京都大学基礎物理学研究所

研究部員会議議長団

---

訂 正

---

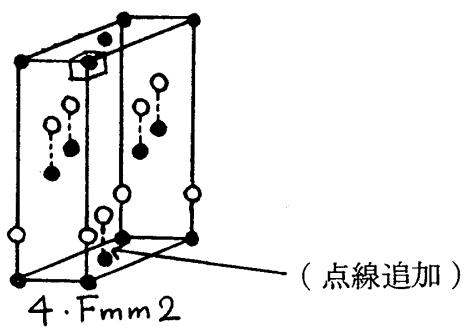
物性研究 Vol. 34 No. 4 ( 7 月号 ), 細谷将彦「結晶構造の体系的分類」 310 頁と 311 頁の内容が入れかわって印刷されました。

なお, 310 頁下から 2 行目

5) K. Aizu: J. Phys. Soc. Japan 46 (1979) 1716

6) M. Hosoya: J. Phys. Soc. Japan 46 (1979) 1691

図 2, 306 頁最下段左から 3 番目



## 編 集 後 記

異常気象の冷夏につづいて暖かい初秋でしたが、このごろは少し気温も下がり、京都の秋もいよいよ本番といったところです。本誌も9月号は少し頁が少なかったようですが、ようやく発行の遅れが正常に戻りつつあり、編集部一同もその点については喜ばしいことと思っています。しかし、先の7月号の細谷将彦氏の論文「結晶構造の体系的分類」で、頁が入れかわる大きなミスが生じました。編集部としては細谷氏並びに読者各位に対してお詫びの意を表すると共に、今後このようなことが起きぬように配慮していきたいと思います。

(T. T.)

### 物 性 研 究

第 35 卷 第 2 号  
1980 年 11 月 20 日 発行

発行人	長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所 京都市左京区百万辺交叉点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物 性 研 究 刊 行 会 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

## 編 集 後 記

異常気象の冷夏につづいて暖かい初秋でしたが、このごろは少し気温も下がり、京都の秋もいよいよ本番といったところです。本誌も9月号は少し頁が少なかったようですが、ようやく発行の遅れが正常に戻りつつあり、編集部一同もその点については喜ばしいことと思っています。しかし、先の7月号の細谷将彦氏の論文「結晶構造の体系的分類」で、頁が入れかわる大きなミスが生じました。編集部としては細谷氏並びに読者各位に対してお詫びの意を表すると共に、今後このようなことが起きぬように配慮していきたいと思います。

(T. T.)

### 物 性 研 究

第 35 卷 第 2 号  
1980 年 11 月 20 日 発行

発行人	長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所 京都市左京区百万辺交叉点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物 性 研 究 刊 行 会 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内



## 講読規定

### 個人講読

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。  
なお新規講読お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、**100円**お支払い下さい。

#### 1年間の会費

1 st volume	2,340円
2 nd volume	2,340円
計 4,680円	

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。  
(振替貯金口座 京都5312)  
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。  
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
3. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols.以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
4. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受けるようになった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
5. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

### 学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 730円、1 Vol. 4,380円、年間 8,760円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求、見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。  
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合、発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物 性 研 究 35—2 (11月号) 目 次

○希土類オーソクロマイト ( $\text{RCrO}_3$ ) におけるR—Cr磁気 相互作用の分光学的研究……………小島憲道…………	51
○「Physics in One-Dimension」 国際会議見聞記……………合田正毅…………	87
○ニュース……………	91
○掲示板	
昭和56年度研究計画・アトム型研究員第1回募集……………	95
1982年京都サマー・インスティテュート (KSI) の企画募集……………	98
基研研究部員会議議題募集……………	100
○訂正……………	101
○編集後記……………	102

物 性 研 究 35—2 (11月号) 目 次

○希土類オーソクロマイト ( $\text{RCrO}_3$ ) におけるR—Cr磁気 相互作用の分光学的研究……………小島憲道…………	51
○「Physics in One-Dimension」 国際会議見聞記……………合田正毅…………	87
○ニュース……………	91
○掲示板	
昭和56年度研究計画・アトム型研究員第1回募集……………	95
1982年京都サマー・インスティテュート (KSI) の企画募集……………	98
基研研究部員会議議題募集……………	100
○訂正……………	101
○編集後記……………	102